

資料

「入試制度についてのアンケート」結果

県内中学校50校から回答

2014年3月宮教組実施

○ 新しい入試制度について

入試制度に問題あり！ 84%

特に問題はない	8校	16%
多少問題がある	24校	48%
問題が多い	18校	36%

○ 意見・要望（自由記述より）

【前期選抜は必要ない】

- ・ 前期選抜で合格する生徒は、後期でも十分合格できる生徒であるので、前期選抜を実施する意味がない。
- ・ 評定が出願できる条件がない学校は、生徒指導上課題がある生徒の受験等、だれでも受験できるのは問題。
- ・ 「どこでもいいから早く合格して楽になりたい」という生徒が前期に出願するケースがあり、中学校は大変。
- ・ 評定の基準が明確に示されていない高校への希望があり、記念受験的にとらえている生徒が少なくない。
- ・ 前期選抜に落ちた時のリスクをあまり考えないで受験する生徒が多い。
- ・ 前期選抜で合格する生徒は後期選抜に合格するという意味において、前期選抜入試は全く意味がない。「受験機会」を増やしたことが、仙台一高5.91倍という異様な情景を生んだ。
- ・ 現在の前期選抜の必要性が理解不能です。後期選抜で合格できる生徒のみの選抜です。それなら後期1本ですみます。
- ・ 出願できる条件があることで、途中リタイア組が出る。志望校をあきらめる生徒の落胆ぶりは目に余る。
- ・ 高校によって試験の内容が変わるので、面接・小論文等の対策が大変。

- ・ 分けて入試をする意味がありません。なぜ生徒を早く獲得したいのか。優秀な生徒がほしいのであれば、高校自体もっと魅力的にすればいいこと。
- ・ 受験機会を増やすというが、条件があり受験できないことがある。なぜ2回に分けるのか。
- ・ 得点重視であるならば、後期入試のみで良い。
- ・ 後期選抜のみで良い。
- ・ 前期選抜で不合格者が多く、制度を変える方向で考えてほしい。

【生徒のショック・心のケア・志望校の変更も】

- ・ 前期選抜に出願できる条件があいまいで、多くの生徒が出願できる。その結果倍率が高くなりすぎ、不合格になった生徒への心のケアが大変。
- ・ だれでも受験でき、相当数不合格にされ、自分を見失う生徒もいる。
- ・ 前期選抜の倍率に影響され、最後まで志望校選択に悩む生徒が多かった。
- ・ 希望する生徒は受験できるため倍率が高くなる。当然不合格者も増え、生徒のショックは大きい。
- ・ 前期で不合格になった生徒の精神的な負担が大きく、後期に気持ちを整理できないまま受験し、また不合格になる生徒がいた。とても可哀そうである。
- ・ 前期合格発表から後期出願までの日程が短く、気持ちを立て直せない生徒も見られた。

【制度上の問題・出願条件等】

- ・ 前期は合格者が3割強しかいない（仙台市）というのは問題。
- ・ 前期で進路を決定したいために、合格できる学校をさがす生徒が増える。何をしたいのかどこの学校に進学したいのか、ぼやけてきている。
- ・ 前期の条件があいまいで、だれでも受験可能である。
- ・ 高校から出されている基準が過度な競争を生まないようにされていくとよい。
- ・ 高校側が提示している条件について、生徒・保護者の判断にまかされているため、基準があってないようなものだ。
- ・ 各学校の条件ぎりぎりを出願しても合格しない。
- ・ 前期選抜の科目がなぜ3教科なのかにも疑問がある。
- ・ 高校ごとの前期出願条件に、首をかしげてしまうものもみうけられた。

- ・ 独自検査の実施状況や内容に高校間で差がある。
- ・ 前期選抜の募集人数が少なすぎるものが問題の中心にある。人数枠の多い実業科では問題が少ない。
- ・ 前期の条件が学校ごとに大きく違っており、具体的な条件がない学校に人が集まり、大量の不合格者が出る。
- ・ 各高校の独自性のもと、出願できる条件が厳密な高校と緩い高校があるが、制度としていかなものか。
- ・ 前期・後期に分ける趣旨がわからない。高校側ができるだけいい子をとりたいだけではないか。前期で多数の不合格者が出て、本人の精神的負担が大きい。
- ・ 前期選抜について、志願理由書、条件等に合うか否かは、各高校で判断するというが、受験生に期待をもたせるような説明なので、不合格になった時のケアが大変。
- ・ 前期選抜に 社会・理科がない。担任として卒業を前に多くの不合格者をだしてしまうのはつらい。
- ・ 評定など条件をクリアしても、合格する可能性の低い生徒に過度の期待をもたせている。
- ・ 多くの受験生が不合格になってしまうことで、本来一般入試で可能性があるにもかかわらず、志望校の変更をしてしまう。
- ・ 2年間の問題の難易度が違いすぎる。生徒も戸惑っていた。
- ・ 検査内容が3教科・5教科と異なる理由が分からない。
- ・ 前期選抜も5教科にすべき。
- ・ 3回受験できる。3回不合格になることもある。という負の面も見べき。
- ・ 「入りたい学校」から「入れる学校」に戻ってきているのが現実。
- ・ 評定で足切りされるので、現実的にはチャンスは1回。
- ・ 志願理由書の指導が大変。

【その他】

- ・ 前期に学力検査が導入され、配点も明示されている点はよい。
- ・ 日程的に、進路の会議日などを以前より早く多くもたなければならなくなった。
- ・ 志願理由書等、教員側の負担が大きい。
- ・ 郵送費が大きい。
- ・ 評定値を撤廃してほしい。
- ・ 前期で少しの人数しかとらないのに、いかにも合格できる風な項目だったり、だめもとで受験するので、事務量が膨大。

- 条件に数検等が入っていて、経済的に受けられない生徒が不利。
- 前期の「独自問題」の情報が欲しい。
- 2次募集のホームページ記載が遅れ大変だった。
- 前期選抜を希望する生徒・保護者から評定に対するクレームが来ることがあった。

宮城県教職員組合

執行委員長 高橋 達郎

宮城県高等学校・障害児学校教職員組合

執行委員長 高橋 正行

「高校入試110番」を終えて

1. はじめに

公立高等学校前期選抜の合格発表の翌日と翌々日、後期選抜の合格発表の翌日と翌々日の計4日間、宮城県教職員組合、宮城県高等学校・障害児学校教職員組合、みやぎ教育相談センターが共同で、県民に対する「高校入試110番」を実施しました。

全部で67件の電話があり、昨年度の22件の3倍に上りました。相談件数が増えた理由として一つには、昨年度はよくわからなかった新入試制度の問題点があっさりしてきたからだと思います。また、相談件数の3分の2の48件は、テレビやラジオの報道で「高校入試110番」の存在を知ったという方々からの相談でした。取り上げていただいた報道関係者の方々に感謝申し上げます。お陰様で、多くの方々の相談にのることができ、また相談を通して入試の問題点をよりはっきりとさせることができました。

2. 相談件数の過半数は、不合格者の保護者・関係者の方々から

(1) 34件が不合格者の親から

「高校入試110番」を開設した日が、公立高校の合格発表の直後だったということもあり、相談件数の過半数の34件が不合格者の保護者・関係者の方々からでした。そのうち、前期選抜が21件、後期選抜が11件、前期か後期か不明が1件で私立高校不合格に関する事案は1件でした。

(2) 前期不合格者からの相談が多数

公立高校、特に、前期選抜の不合格者の保護者からの相談が多く、「募集定員が少ないことから覚悟はしていた」はずだが、実際に不合格になってみると、予想以上に本人のショックが大きく、「食事ものどが通らない」「学校に行かないと言っている」といった訴えや、保護者自身が大きなショックを受け、「子どもの前では泣けないので」と涙声で心情を語られた相談もありました。

(3) 推薦入試時の4～5倍の不合格者、全卒業生の4～5人に一人が不合格体験

前期選抜では、昨年度5,015人、今年度4,142人も大量の不合格者を出しています。これは推薦入試だった一昨年度の1,170人の約4～5倍にあたり、県内中学校卒業生22,000人の4～5人に1人が不合格体験を味わわされてしまうことになってしまいました。

(4) 大量不合格の理由は何か

問題は、なぜこれだけ大量の生徒が不合格体験を味わわなければならないのかという点にあります。

前期選抜は募集定員が普通科で20%に限定され、3教科の学力検査も実施されます。ですから、前期選抜で合格する生徒は、間違いなく後期選抜でも合格する実

力を持った生徒に限定されました。また、前期選抜で不合格になった生徒の多くは後期選抜でなら合格できる可能性が高いことから、「前期選抜があるために不合格体験をさせられている」生徒が大量に生まれているというのが実態です。

(5) 前期選抜のメリット

前期選抜のメリットは、「後期選抜で100%合格出来る生徒が、前期選抜で早めに進路決定ができるので、私立高校への一次納付金を納めなくてもすむ」生徒だけにしかありません。

(6) ダメージを受けているのは不合格生徒だけではない

前期選抜でダメージを受けているのは不合格生徒だけではありません。「高校入試110番」には、前期選抜を受験することができなかった生徒の保護者の方から4件の相談がありました。前期選抜の出願条件に多くの高等学校が評定値を含めています。その数値を見て受験することを断念した生徒も大量に存在するのです。相談の中でも、受験できなかった生徒の保護者の方から、友人は受験できて合格したのに自分は受験することすらできなかったで、「友人関係にも響く」とか「不安になって志望校を変えた」といった声が聞かれました。

(7) 評定値で縛っても縛らなくても問題あり

一方で、受験して不合格者となった生徒の保護者の方からは、「受験資格を評定値でもっとしぼって欲しかった」という声も寄せられており、受験資格を5段階評定の平均値で制限すると受験できない生徒を大量に生み、制限しなければ大量の不合格者を出してしまうので両方とも問題があるということになります。

(8) 中学教師・高校教師の徒労感

この3月、中学校の現場教師からとったアンケートでも、前期選抜を肯定的に評価する声は、推薦入試よりは良いということからしか上がっていません。「前期選抜はいい」というのは中学校・高等学校現場の共通した声になっています。生徒のためになる多忙なら考慮の余地もありますが、「何のため、誰のための多忙なのか」と問われた時に、「後期選抜で合格できる一部の子どもが、私立に一時金を納めなくてすむ」ためだけの業務になっているのが実情です。そして、現場の教師は、多くの子どもの心を傷つける制度になっていることを知っているからこそ、虚しい『多忙感』『徒労感』を中学校・高等学校の双方の教師達は味わっているのです。

3. 前期選抜を受験できる資格、前期選抜・後期選抜の合否判定基準についての要望が数多く出された

(1) 求められる判定基準の透明性

電話相談では、「なぜ不合格だったのか理由がわからない」「不合格だった理由を知りたい」という相談が前期選抜・後期選抜あわせて8～10件寄せられています。不合格だった理由の説明責任を果たし、合否の判定基準を明確に示すことが強く求められています。

①前期選抜の学力検査の結果は後期選抜の合格発表日まで開示請求できないため、後期選抜の受験校を最終決定するための判断材料とすることができていません。

(後期選抜の結果は、合格発表の翌日から開示されているのに)

②部活動での成績や生徒会役員などとしての実績が、前期選抜の受験資格になるか

どうかは明示されていますが、実際の合否判定でどのように取り扱われているかが全く不透明のため、「県大会出場したのに合格できなかった」「生徒会長なので大丈夫だと思った」という相談の声になっています。前期選抜の調査書点については評定値の225点満点でしか示されておらず、部活動や生徒会の実績は考慮されないこととなります。何らかの考慮がされているとすれば明示する必要があると思います。

③後期選抜での学力検査の自分の結果は知ることができても、合格者や受験者の平均点数も公表されていないので、比較・判断する材料がありません。そこで、合格できなかった理由を『評定値』に求め、評定を付けた中学校への不満を抱いている様子がうかがわれます。中には、「中学校の先輩が問題を起しているから不合格になったのではないか」「特定の中学校出身者が優遇されているから不合格になっているのではないか」と疑心暗鬼になっている様子までうかがえます。

(2) 評定値をめぐる不満やトラブル

そもそも中学校の評定は、調査書のためにつけている訳ではなく、学力を測る尺度として客観性を持つものではありません。県教委は、客観性を持たないことをよく知っているからこそ、推薦入試を前期選抜に変更し、前期選抜に学力検査を導入したはずですが。評定値を合否判断の重要な要因としている以上、評定値をめぐる中学校への不満や不安の声は、来年以降も増えることが予想されます。

来年度以降受験する生徒の保護者の方からは、中学1年生の評定も前期選抜を受験できるかどうかに関わってくることへの不安や不満、また、3年前の震災で被災した子どもも1年生の成績が加わっていたことへの疑問の声、高等学校のランク付けにつながるといった指摘が出されています。

(3) 後期選抜受験校決定のための時間的余裕を

前期選抜の合格発表から後期選抜の出願までの日数をもう少し長くして欲しいという相談も見られました。一応前期選抜不合格の場合の後期選抜出願校は決めてあっても、もう一度考えたり相談したりする時間的余裕が全くなく、ショックを受けたままの受験になっている様子がうかがえます。

宮城県では中学校を通した出願となっているため、中学校が、志願者全員分の出願書類の点検と学校が用意しなければならない書類の作成に、一定の日数が必要となり、結局、前期選抜の発表の翌日か翌々日が本人・保護者が中学校へ出願書類を提出する締め切り日となってしまっています。

一日でもその時間的余裕が持てるようにする必要があります。

4. 学費に関する相談件数も多かった

「高校入試110番」への相談には、学費に関する相談も15件ありました。私立高校の一次納付金の5万円が期日までに払える見通しが無いとか、後期選抜に不合格となり、私立は合格しているが経済状況が厳しいので公立の二次募集を受けさせたいといった切実な相談がそのほとんどでした。

どのような制度を利用できるか、できる限り電話相談でお伝えしましたが、利用できる制度の情報が充分に行き渡っていないことが感じられ、利用できる制度の一覧の全家庭配布などの必要性を感じました。

また、根本的には、経済状況の厳しい家庭の子どもでも、個人負担が心配で高等学校進学を断念することがないようなシステムにしていく必要があると考えます。

5. さいごに

宮城県教職員組合と宮城県高等学校・障害児学校教職員組合は、今回の『高校入試110番』に寄せられた声、教職員へのアンケートの結果をもとに、宮城県教育委員会に対し、

「早急に、前期選抜をなくし、3月の受験1回（2次募集は残す）の制度に移す作業に着手すること」
を求めていると思います。

番号	相談者	地域	志望校	相談事項	相談内容
1	母親		私立	入学手続き	私立高校2つに合格。一般入試だが、入学手続き二つともしても大丈夫か。
2	父親		公立	前期選抜・制度改革を	初めての受験で、本人の重圧も家族の落ち着きのない生活も大変だった。次の2点について質問したい。 ①受験という制度は必要なのか。 ②前期・後期と2回試験をするのは、不合格者の気持ちを考えると、必要のない制度だと思う。これまで推薦制度が存続していればなあ、というのが大方の親の感覚だ。 制度改革のため、がんばってほしい。
3	母親		公立	前期選抜・制度の廃止を	受験生の母。〇〇高校の前期入試を同じ中学校で8人受けたが、1人しか合格しなかった。6人に1人しか合格しないので「だめもと」と考えてはいたが、実際に落ちてみると、ショック。どうして落ちたかわからず、理不尽さを感じた。高校側が「うちに学校にふさわしい生徒」を選ぶ態度は「高飛車」「上から目線」のように感じた。ほとんどの子が高校に進むのだから、本来「できるだけ多くの子を受け入れよう」というのが基本的なスタンスであるべきだ。神奈川に知り合いがいるが、神奈川はすでにやめている制度で、いまさらそんなことをやっているのかと驚かれた。中学生にとって、無駄に不合格になる制度は問題。教育的な受験制度とは思えない。中学校の先生もこんな制度は長く続くはずがないと思っている。子どもたちを実験台にしないでほしい。早くやめてほしい。
4	母親		公立	前期選抜・学費	息子が前期選抜で不合格(〇〇高校)。相談したいのは①私立も受かっているが、1次金を納めないとだめか②同じ高校を本人は受けたいというが、親としては不安。③4人の子どもがいて経済的には大変。奨学金などの制度を知りたい。→高校に入ってから奨学金などは申請できる、お子さんの実力で合格可能性を塾や担任の先生に相談すると良い、3月にまた相談してほしい、といったことを伝える。
5	叔父		公立	前期選抜・制度設計	来年受験する予定の子どもの叔父。今回の制度について県教委にも質問したが、なぜこういう制度にしたか明確に答えられない。現場の声を聞かない制度設計はおかしい。高校をランク付けしてはだめだ。将来の進路を見据えて、特色ある学校づくりをすべきだ。
6	母親		私立在籍	不登校	高校1年生。不登校。単位が不十分。もう一度1年生を、といわれている。私立〇〇高校に在籍。担任には相談しているが、見通しがほしい。
7	母親		公立	二次募集	私学を受けて〇〇高校に合格した。今日中に5万円を払わなければならない。前期は受けなかったが、後期は〇〇高校を受けたいと考えている。二次募集も考えているので、二次募集について知りたい。
8	母親		公立	前期・後期	前期で〇〇高校を受験。不合格。開示請求をしたいが何が開示されるのか。偏差値は△△だったが、後期で受験しても合格できるか不安。→お子さんとよく話し合ってください。
9	母親		公立	学費・家計が苦しい	子どもが多い。3番目の子。学習障害がある。点数が低い。普通クラスに在籍。私立には合格しているが財政的にとても厳しい。母子家庭にはいろいろ優遇措置があるが、両親そろっていても厳しい家庭がある。なんとかしてほしい。
10	祖母			前期選抜・制度おかしい	前期入試が国数英だけなのはなぜか？理社が得意な子はどうするのか？調査書点の客観性も疑わしい。学校や教員によって評価が違うのではないか。今回の制度は、むしろ改悪ではないのか？うちの孫は、実力テストの成績はいいのに、苦手科目の評定が低くて、前期に出願できなかった。受験生の心を惑わすような制度はやめてもらいたい。教育委員会の人間には、実際に試験を受けて体験してもらいたい。そうすればこの制度のおかしさがわかるはずだ。
11	母親		公立	前期選抜	前期で〇〇高校を落ちた。落ち込んで夕食も喉が通らず、今朝、口も利かず学校へ。もうこの世の終わりのような状態…。明日、後期の願書締め切り。中学入学時から「〇〇高オンリー」だった子。親も〇〇高に入れたい。私立△△高に受かっているが、〇〇高とは校風が違う。特定の教科だけ弱い。生徒会長、県大会出場などが有利に働くと思っていたが…。「娘の背中を押したい」がどうしたらよいか。
12	母親		公立	後期受験校の選択	前期選抜で仙台の〇〇高校を不合格になった。現在仮設にすんでいるが、2年後には出なければならないので、高校入学を機に祖父母の家に同居させ、2年後に一家で仙台転住を考えている。中学校の先生からは、後期は「レベルを下げた方がいい」と言われ、□□高、△△高、××高を勧められた。しかし、先生からは、地元の◇◇高校はどうかとも言われている。本人は「レベルは下げたくない」と言っている。仙台の学校の様子がわからないのでどう考えたらよいか困っている。→「レベルを下げる」という考え方ではなく、どういう高校生活を送りたいかを中心に学校選びをしてほしいということ、それぞれの学校に特色を交えながら、お話をした。また、現段階では親元から通う方が本人の安心感にもつながるので、無理に仙台に出る必要はないのではないか、ともお話をした。
13	父親		公立	前期入試・制度おかしい・中高一貫を	息子が前期入試で不合格になった。前期でこんなに多くの受験生が不合格になる制度はおかしい。不合格者を減らすために、出願できる条件のハードルをもっと高くすべきだ。受験生・保護者・教員をこんなに混乱させる入試制度はおかしい。中高一貫校をもっと作る動きは無いのか。ただ6年間のなかでいろいろと問題が多く起きていると聞いている。〇〇高校の学力差がかなり大きくなるのではないかと心配。就職中心の学校になるのか？

14	母親	公立	前期選抜・後期の選択をどうするか	息子が前期入試で〇〇高校を不合格に。後期入試をどうしようか悩んでいる。「中学校では大丈夫とか言ってくれないのか」「内申点の基準はどうなっているのか」「小論文の問題が難しい。中学校でも対策が不十分。パンフを3週間前に渡されただけ」との質問。→「中学校ではこれまでの進学実績等をもとにアドバイスするが、大丈夫などとは言わないし、県教委も受けたい高校を受験させるよう指導している」「小論文については、あまりにも難解なものについては改善を求めている。中学校教育のなかで指導していないものを受験内容にすることにも問題がある。」「昨年度、ある中学校で前期選抜でかなり不合格になり、進路変更を余儀なくされた。本当に行きたい高校をあきらめて。でも、後期については、前期と違い定員の80%であるし、後期の比率は3:7で学力検査結果を重視している」→「話ができて気持ちが楽になった。息子にもがんばらせたい。」
15	母親	公立	不登校の影響 後期の受験校	2年時にかなり長い期間、いじめとそれによる病気で欠席・不登校に。内申点が低くなるので学力点対調査書点が7:3の学校を選んだ。〇〇高校を希望しているが、不登校の影響がないか、娘の実力で入れるか心配だ。実力テストの点数も変動が大きい。→不登校については3年時に休んでないので心配ない。当日の点数が大事だ。
16	祖父	公立	前期入試・採点に疑問	孫が〇〇高校を受験して不合格。採点に疑問がある。後期も受験させたい。
17	母親	公立	前期選抜・入試制度おかしい	〇〇高校を受験して不合格。ショックで学校に行かないと言っている。何で落ちたのかわからない。一生懸命やったのに。涙声での電話。「子どもの前では泣けないので、すみません」と。全国では前期入試をやめている県があるのに、どうして宮城県は実施しているのか。お母さんたちも話している。今日まで後期入試の学校を決めなければならないが、決められない。〇〇高校でビリでいるより、少しレベルを下げて上位でいたほうがいいのか。悩んでいる。子どもの気持ちを考えるとつらい。話は変わるが、公共交通機関を使ってと書いてあったので朝早く起きて行ったのに、自家用車で来ている受験生がいたのもおかしい。徹底してほしい。
18	母親	公立	前期選抜・入試制度おかしい	わが子は、前期入試を受験しなかったが、後期一本では不安になり、志望校のランクを下げた。そしたら、子どもの学習意欲が下がり心配だ。どうして、前期入試制度があるのか疑問だ。
19	母親	公立	前期選抜・制度の改善を	昨年、娘が受験し、前期不合格で後期で合格した。そのとき制度に疑問を感じたが、こうした取り組みがされていることを知らなかったが、今回、テレビで知ったので昨年のことだが電話した。 上の子のときは推薦制度だったが、今の前期・後期制とはまるで違う。募集枠が少ないため、不合格になる子どもたちが多すぎる。こういうやり方では高校側にも利点があるとは思えない。受験する側は「後期で確実に受かるから」と言われても不安で同じところを受けてもいいか悩むし、本人は不合格になったことでショックを受けているので、勉強にもなかなか手がつかない。また、前期で合格した子は、その後勉強しなくなる。前期の募集枠を拡大することはできないのか。他県の制度はどうなっているのか。
20	父親	私立	二次募集	息子。私立高に不合格。部活の関係でどうしてもその高校に入れたい。私立の二次募集の合格発表前に公立の二次募集が締め切られるが、公立も出願できるか。→県教委への確認を勧める。
21	母親	公立	後期選抜	前期選抜は不合格だった。後期選抜に向けて、予備調査はあるのか。倍率を早く知りたいと思った。
22	父親		前期選抜・制度の改善を	ラジオで聞いた。たくさんの不合格者が出る前期選抜は問題でないか。子どもが今後、受験生になるので対応に不安を感じている。不合格者が出ない入試制度にできないか。
23	母親	公立	前期選抜・受験校の選択の悩み	〇〇高の□□科を受験したが不合格だった。私立△△高に合格しているので、本人はそこに行こうとしたが、周りの子で同様に前期不合格だった子が後期も受験するようなので、後期も〇〇高を受験したいと言い出した。◇◇高なら確実に合格できると思うが、子どもが情報系の高校に行きたいと行っており、どう対応したらいいか悩んでいる。仮に△△高に行けば、系列の大学に入れる確率は高くなるのか。父親は私学だと学費が高いので公立高校に行かせたがっている。どう対応したらいいか悩んでいる。月曜日まで結論を出さないといけない。中学校とも相談しているが、今晚、どのように子どもと相談したらいいか。
24	父親	公立	前期選抜・廃止を	前期入試の意味は何か。娘よりも評価の低い子が受かった。娘は受験をしなかった。「受かればよかった」とタベ言われた。前期の合否が友達関係にも響く。昔のようにならしたら。せめて推薦に戻したほうがフェアではないか。今の教師は、受ける、受けるなどと言わない指導をしている。この制度はやめたほうがいい。県教委にも言いたい！ 教育委員会は子どもの気持ちがわかるのであろうか。自分の子どもはすべて高校に上がるが、中2以下の子どもを持つ親にこの問題を知ってもらいたい。
25	母親		入試の答案用紙	答案用紙には名前を書かなくても良いのか→OK 番号のみ
26	父親	公立	前期選抜・後期選抜の基準	前期で不合格。後期も受験させたい。合否の判定基準について知っていることがあれば教えてほしい。
27	父親	公立	前期選抜・入試制度おかしい	前期選抜で不合格。中総体の県大会で活躍。絶対大丈夫と言われ、本人も自信満々だったが不合格。ショックが大きく、家庭内もぎくしゃくしている。この制度はよくない。推薦のほうが良かった。この制度は不合格になったことのない人、いわゆるエリートが決めている。中学生の気持ちを考えてない。ぜひ伝えてほしい。

28	母親		公立	前期・合格通知	前期で合格したが息子が通知を持ってこない。いつ渡されるのか。→学校に問い合わせしてほしい。
29	母親		公立	前期選抜・(後期)	前期で〇〇高校受験。不合格。本人はショック。塾の先生と相談して決めたのだが。全般に女子の方が合格者が多いのはなぜか。面接が4箇所。面接官によって差がつかないか。後期も〇〇高を受けると言うが。
30	母親		公立	男女共学	もともとの女子高になかなか男子生徒が入らない。行きづらい。なんとか方策をとってほしい。高校名のネーミングも悪いのではないかな。
31	母親		公立	前期選抜・問題多い・共学	前期の小論文難しい。塾にも通わせた。しかし前期不合格。実質理社の試験。必要なら教科としてテストしてほしい。感じる問題点①評定が中学校によって違う。②評定で3年間子どもが振り回される。気を休める暇がない。先生との相性で評定が低くなることも。一つでも落とされると受験できない。③女子高の共学化は失敗ではないか。男子がもっと入れるようにすべきだ。ネーミング自体男子が入りにくい。今回の110番の結果をぜひ公表してほしい。
32	母親		公立	前期選抜・後期の志望校選択	前期、〇〇高校普通科を受験して不合格。後期の志望校を決めるのに揺らいでいる。担任は月曜日まで待つといったのに、学校からは本日17:00まで決めてほしいと言われた。どうしたらよいか。
33	母親		公立	調査書点の算出方法	入試の調査書点算出の際、5教科以外のいわゆる実技4教科の調査書点を2倍にするのはどうしてか。うちの子は体育が苦手で他のお子さんより、そのことで不利になるのではないかと心配だ。
34	母親		公立	前期選抜・後期入試への対応	前期入試で〇〇高校を不合格になった。本人は自信を失っているようだ。後期も〇〇高校を受ける予定だが、どう励ましたらよいか。模擬試験等では△△点は超えていると思う。→前期の結果は気にせず、全体の倍率はそんなに高くないから、基本的なことでミスしないようにしっかり勉強し、平常心で受けるようにアドバイスしてください。
35	祖母		公立	前期選抜・制度に対する疑問	今回の前期、後期制は問題が多い。二度手間、どこかを儲けさせるためにやっているとしたかと思えない。前期に落ちて立ち直れないといっている子が近所にいる。昔の方が良かった。余計なことをしないほうがいい。
36	母親		公立	前期選抜・後期への対応	前期で〇〇高校を受けて不合格になった。後期で同じ学校を受験するが、まったく勉強しようとせず、パンフレットをみて、新しい携帯がほしいなどと言っている。模試などでは△△点は取れるが、本人は自分より優秀な人が受けるのではないかと心配している。新しい携帯を買ってあげてもいいものだろうか。→お母さんの心配を率直に伝えて、娘さんと良く話し合ってください。受験までの間に基礎事項をしっかり復習することが大切です。そういうことも話してあげてください。
37	祖母		公立	入試制度	なぜ、地元の学校に入れなくて、遠くの学校に行かなければならないのか。子どもは将来の宝なのだから、もっと教育にお金をかけてほしい。
38	祖母		公立	前期選抜・やめてほしい	友達の娘が昨年、前期で落ちてしまった。この制度には反対だ。競争が激化して、詰め込み詰め込みになり、小学4年生なのに、「僕もう終わっているからいいんだ」とまったくやる気がない子が出てきている。子どもたちを実験材料にするのはやめてほしい。
39	父		公立	入試制度	自分の子どもは合格したが、周囲の子が私立も含めて4回落ちて落ち込んでいる。生徒に不要な不合格体験を強いる制度はおかしいのではないかな。早急に改善を望む。
40	母		公立	前期選抜・問題では	中1の親。新入試制度でどのような問題が起きているか知りたい。受験時だけでなく、入学後も様々な問題があることを知った。県教委に方針を変えさせるためにはどうすればいいかな？
41	塾の講師		公立	入試制度・改善を	塾で指導していた生徒が後期で不合格。どう声をかけていいか悩んだ。受験はこわい。15歳の子が受け止めるには厳しい現実。なるべく競争のない方向でやってほしい。
42	不明		公立	入試制度・おかしい	今の入試制度はおかしい。こんな入試制度があるから「いじめ」がなくなる。県教委に連絡先も明記してメールをしたが、一切返事がない。
43	母親		公立	学費について	合格したが、3人も子どもがいてつらい。何か給付を受けられる制度はないかな。→生健会を紹介。
44	母親		公立	二次募集	二次募集を受けられる条件を教えてください。
45	母親		公立	学費・奨学金	私立は合格していた。昨日後期合格。子ども4人。3人が卒業。お金が心配。これからでも奨学金を受けることはできるのか。
46	母親		公立	前期選抜・出願できる条件	今1年生の親。出願できる条件が厳しすぎる。吹奏楽で東北大会以上というのは困難。地域性もあるし、学校の事情も違うので不公平を感じる。中学校生活が入試に左右されて、苦しい。出願できる条件を緩めてほしい。
47	塾の講師		公立	2次募集	〇〇高を後期受験して失敗。すでに私立の△△高に合格してお金は支払っているが、二次募集で公立を受けたいとの希望がある。そのようなことはできるのか。△△高には何も連絡しないでもいいのか。→原則できない。学校と相談。午後電話あり。

48	母親		公立	私立の入学金	私立高校に納めた入学金は、東日本大震災で被災した方に返金されることになっていたが、公立高校に合格したが返金してもらえるのか。
49	母親		公立	点数	不合格になったことに納得いかない。自己採点したが、開示して示された点数に納得できない。2点ぐらいの差で友達は合格しているので、記述のところの採点が何点なのか、その配点で合否が違ってくる。私立に入学の手続きを済ませたが、どうしても納得できない。
50	母親		公立	2次募集	〇〇高の11名募集にかかるリスクは？開示したら■■■点だった。この点数なら合格するかも…しれないと思う。そんな人はどれくらいいるのか。同じくらいの人がある環境で勉強して方がいいのではないか。中学校の先生にはやめたほうがいいと言われた。私立の△△高に手続きをしないで、〇〇高も落ちたらどうしたらよいか。
51	祖母		公立	授業料	高校1年の孫の高校の費用についての相談。→専門の相談機関を紹介する。
52	父		公立	入試制度	転勤族なので宮城の入試制度について教えてほしい。〇〇〇中から△△高校を受けた。ランクを下げていたので大丈夫だと思ったが不合格。ちょっと納得しなかったの電話した。私立には合格している。ちょっと納得しました。ありがとうございました。
53	祖母		公立	前期選抜・おかしい	前期の入試は何のためにやっているのか。ほんの少ししか合格させず大量の不合格者を出す。せめて半分はとってほしい。こんな制度はおかしい。県の教育委員会にも言ってほしい。
54	父		公立	二次募集	〇〇高校に不合格。私立には受かっており、手続きもすべて済んだが、〇〇高校の2次募集に応募したい。通学時間や経費を考えると、それはできるか。→どこにも手続きしていない子しか出願できないことを伝える。しかし、私立に入学辞退を伝えれば出願はできるが、リスクは大きい。よく話し合ってください。
55	本人		公立・定時制	その他	〇〇市在住。30代半ば。残業の多い前の職場で正規採用の話が出たが、基礎資格は高卒ということで採用されず、やめた。今、△△△でアルバイトを始め、来年度の入試で定時制を受験したいが、具体的にどのように対応すればいいのか。→入学願書などの種類の準備が必要。具体には受験希望の定時制高校に聞いてもらえば対応が早いのではないかと。
56	祖母		公立	入試制度	ちょっと前に電話した。孫の件だが、前期入試の内申点問題で、ある中学校はかさ上げしていると聞いたが、孫の学校はだめで受験できなかった。問題だ。また、前期合格者の子に優越感を与える制度になっている。せめて、前期と後期の受験割合を逆転させ、前期で受験しやすいようにしてほしい。
57	母親		公立	合否結果に納得できない	ランクを下げて受験したが落ちた。学校に行って点数を開示してもらったが■■■点だった。塾に相談したが「この結果で落ちたのか」と言われた。息子も私も納得できない。だめだった理由を知りたい。高校側は何を基準に合否を判定しているのか、事実を知りたい。高校側では、〇〇中学校卒の子どもは入学後問題行動も起こすからはずすと話を聞いたことがある。△△中も同様の扱いになっているのではないかと疑問をもっている。→〇〇高は今回2倍近い受験率だった。結果的に息子さんと同じような子どもたちが受験したのでないか。今、大切なのはお母さんの気持ちの整理だと思う。中学校の先生にも相談し、何とか気持ちを整理し、前向きに考えてほしい。
58	父親		私立	学費	事情で別れて暮らしている子どもから連絡が入り、公立高校を落ち、私学に入学金を本日中に払わないといけなと言われた。今、自分は仕事で自身の対応は不可能だ。→どう、対応すればいいのか。入学予定の学校に入学する意志を伝え、率直に相談してほしいと伝える。
59	塾の講師		公立	前期選抜・おかしい	今の入試制度はおかしい。ある中学校では前期入試で20人受けて1人しか合格しなかった。お母さんたちもおかしいと言っている。人生を左右することなので。
60	母親		公立	学費(入学諸経費)	〇〇高校の定時制に合格したが、入学諸経費を期限の4月7日までに納められない。夫もいるが、家計が大変苦しい。→中学校の教師に相談して校長から高校に頼んでもらうようアドバイス。社会福祉協議会や生健会への相談なども勧めた。
61	母親		公立	不合格への不満・開示請求	自己採点でははるかに例年の合格最低点を上回っていたが不合格に。採点は誰がやっているのか。採点にミスは無いのか。内申の差なのか。部活でも県大会に行っている。納得できない。私立には受かっているが、合格者の平均点などは開示請求できないのか。
62	母親		公立	調査書の点数(評定)	偏差値が■■■。しかし中学校では半分以下の順位。これでは前期選抜を受験資格もない。後期選抜にかけて勉強してきたが、不合格だった。自己採点では■■■点以上取ったのに、友達は塾で■■■点下の子が合格した。娘の通っている学校は評定が厳しいことで有名だが、こんなところで差がつくのはおかしい。本番で一発逆転ができない入試制度は納得いかない。〇〇高の2次募集にかかるリスクはやめて私立にお金は払った。
63	母親		私立	授業料の免除	私立は授業料の免除はあるか
64	母親		私立	学費・苦しい	私立高校を合格して必要な金額は納めたが財政的にとても厳しい。母子家庭。→奨学金制度、授業料減免、生健会を紹介。
65	母親		公立	合否結果に納得できない	息子が〇〇高に落ちた。開示では■■■点。内申は■■■。塾からは「この点数で落ちた子はいない。ありえない」と言われた。高校によって地域の中学校から多く採るといふことはあるのか。地元の中学校の生徒はたくさん合格したと聞いた。単に倍率が高かったせいなのか。先輩たちに何か問題があったのか。中学校への信頼が無いのか。△△中は評定が厳しいと聞いている。
66	母親		公立	前期選抜・出願条件(評定)	前期選抜の基準に、1年生の評定が入ったことは納得いかない。今年の3年生は震災で入学式も遅れ、△△地区では、両親をなくした子や家を流された子もたくさんいる。私も職場が被災して大変で1年間子どもにかまっていられない暇がなかった。そんな中で高校入試に1年生の成績がはいることも知らなかった。中学生になって生活に慣れるだけでも大変なことなのに、その上震災で被災した子どもたちが同じように扱われることに疑問がある。また、1年生の成績から高校入試に影響があることを知らせるべきである。
67	母親		公立	学費	入学費用がかかる。授業料の減免措置について。